

明日の地球に ゆたかな^も森林^りを

活動のご案内



公益財団法人 国際緑化推進センター

Japan International Forestry Promotion and Cooperation Center

緑の地球を次代へ引継ぐ

地球温暖化や砂漠化、生物種の急激な減少など地球環境問題がますます深刻化しています。このため、気候変動の緩和や生物多様性の保全にとってかけがえのない役割を果たす熱帯林はじめ地球上の森林を持続的に維持・経営していくことは、今日の地球環境問題に対処する上で不可欠な要素であり、国際社会における喫緊の課題となっています。

公益財団法人国際緑化推進センターは、平成3年（1991年）に熱帯林再生のための民間の国内拠点を目指し財団法人として設立して以来、活動の目標として、森林のゆたかな恵みを未来にわたって持続的に享受していくための“緑の地球”づくりを提唱しています。その実現に向けて、NGO等民間による地球緑化の取り組みを推進する様々な活動を行っています。

「緑ゆたかな地球を次代へ引継ぐこと」、それが国際緑化推進センターの願いであり、現代に生きる私たちみんなの務めです。

国際緑化推進センター(JIFPRO)の活動



“緑の地球”づくりを担う人材の養成

“緑の地球”づくりに携わる国内外の人材を育成するために、技術研修を実施しています。わが国の林業NGOなどの活動家を対象に、熱帯林など森林の保全・造成に必要な基本的知識と技術の習得を図る海外林業研修、地球温暖化対策の一環としてのCDM植林（先進国による途上国での温室効果ガス吸収源活動）の実施に必要な国内および途上国の人材を育てるためのCDM植林研修などがあります。



熱帯林の実地見学（海外林業人材育成研修／インドネシア）



CO₂吸収量計測実習（CDM植林海外ワークショップ／パナマ）

熱帯林等に関する調査研究

熱帯途上地域の森林の再生と持続可能な管理・利用を促進するための調査研究・技術開発を行っています。たとえば、難民キャンプ周辺の荒廃した森林の復旧と持続可能な利用を図るための能力強化や計画策定の支援、鉱物採掘跡地などの荒廃地の植生回復技術指針の作成、アグロフォレストリーを通じた住民参加型森林管理の実証調査、CDM植林への参加を支援する技術指針の作成、地球温暖化対策と関連した森林の炭素吸収・固定に関する調査など、多岐にわたっています。



- （上）土壌水分の測定（森林と水環境を考慮した森林造成・管理の手法を開発する調査／ケニア）
- （左上）森林現況調査（CDM植林技術指針調査／インドネシア）
- （左下）住民と意見交換（荒廃地の緑化技術と採算性に関する実証的研究／インドネシア）



情報誌や技術テキストなどの刊行物（上段）と普及啓発用の冊子やCD（下段）

情報の収集と提供

地球緑化の取り組みを行う上で必要な情報を収集し、提供しています。技術情報誌「海外の森林と林業」と情報誌「緑の地球」を定期的に発行し、技術テキストなども随時発行しています。また、ホームページ上で、熱帯人工林に関するデータベースや各種調査報告書、NGOの海外緑化活動の実施状況などの情報を公開しています。

NGOなどの海外緑化活動への支援

NGOなど民間による海外緑化活動を支援しています。NGOが新たなプロジェクトを計画する際の事前調査の費用や、現地カウンターパートの日本での受け入れ研修の経費、国際会議等への参加経費について助成を行っています。また、NGO相互の連携と情報交換を促進するような支援も行っています。



緑化プロジェクト形成調査（オイスカ／マレーシア）



ミャンマーの半乾燥地に造成した水源涵養林。この森林ができたことで、近隣10村が依存する水源（右の写真）は乾季にも涸れなくなった

熱帯途上国での森林造成

減少著しい熱帯林の再生に貢献するために、一般市民や企業、団体などから寄せられた寄付金等をもとに、東南アジアにおいて、当センター独自の森林造成活動を行っています（熱帯林造成基金事業）。砂漠化防止や水源保護、本来の森林生態系の復元、住民の燃料用材等の確保など、地域の自然条件やニーズに沿った目的での森林造成を、住民の参加・協力を得ながら進めています。



国際緑化活動の普及啓発

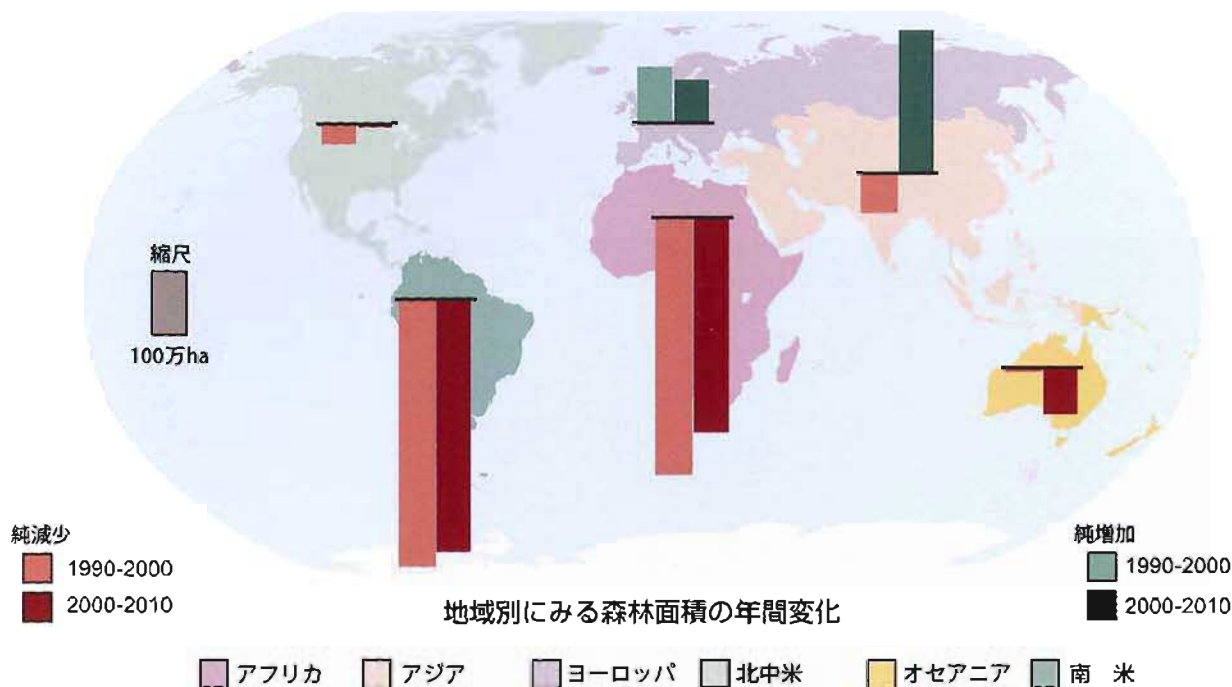
地球環境の保全のために、世界で緑化の取り組みが行われ、森林の持続可能な管理と利用が進められることが大切です。この地球緑化について多くの人々の理解と協力を広げていくために、国際ワークショップの開催のほか、国連の地球温暖化防止会議の森林関連議論の内容を説明する報告会などを開いています。

また、森林問題に関する啓発用の冊子やCD、パネルを作成し、環境イベントなど様々な場で活用するとともに、NGOや学校、海外の林業関係団体などに提供しています。



海外緑化協力活動に関する国際パネル・ディスカッション（東京）

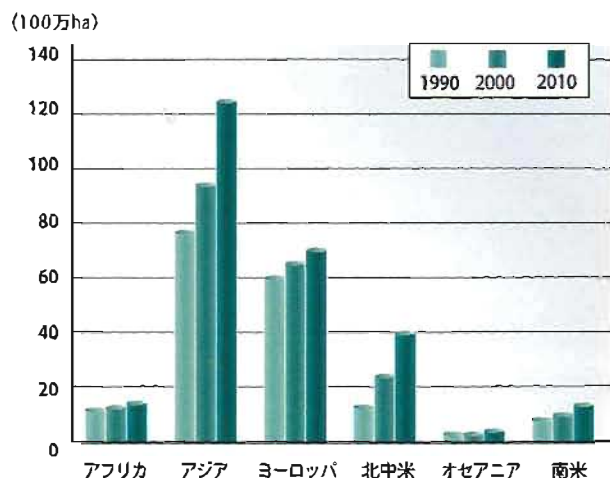
減り続ける世界の森林



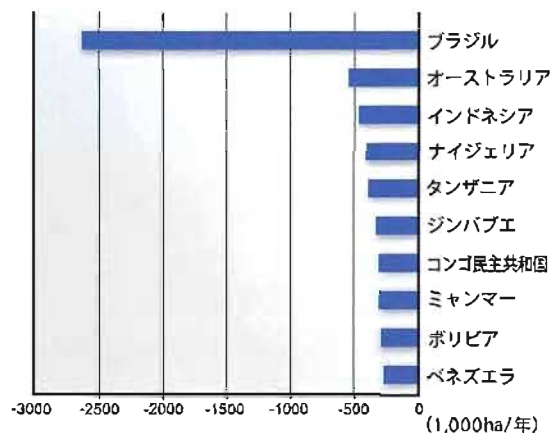
世界の森林面積は40億㍍で、陸地面積の約3割を占めています。地球の環境と人々の生活を守るこの貴重な森林は、熱帯林を中心として急速に失われています。国連の発表によれば、2000年から2010年までの10年間は一年当たり約1,300万㍍の森林が消失し、一方で植林や森林の天然力による回復からの新たな増加があり、これを差し引いた純減少面積は年520万㍍となっています。つまり、九州の1・3倍の広さに相当する森林が、今なお毎年、地球上から減り続けているのです。地域別では依然、南米とアフリカでの減少が顕著であり、またオセアニアも、オーストラリアにおける近年の深刻な干ばつにより減少に転じています。1990年代には減少が続いていたアジアは増加に転じていますが、これは主に中国、さらにはインド、ベトナムにおける大規模な植林に負うものであり、東南アジアに限ってみればむしろ減少の度合いが加速しています。

森林減少の原因は、森林地の農業など他用途への転用をはじめ、非伝統的な焼畑耕作、過剰な薪炭材採取、違法伐採などの不適切で無計画な伐採、森林火災や自然災害等、様々なものがあります。森林の減少は、地球環境に大きな影響をもたらしますが、なかでも深刻なのが地球温暖化との関係です。森林は巨大な炭素貯蔵庫であり、その減少・劣化に起因する二酸化炭素の排出は、世界全体の総排出量の2割を占めるとわれています。

こうした状況の中で世界各地で植林の取り組みが行われ、人工林は2005年から2010年の間では、直前の5年間の倍近く、年約500万㍍の割合で増えています。しかし、急速な消失スピードに追いつくのは容易ではなく、世界中で一層の努力が求められています。



人工林面積の推移 (1990 - 2010年)



森林純減少の大きな国10ヵ国 (2000 - 2010年)

緑の地球づくりのために あなたも国際緑化推進センターの活動にご協力ください

国際緑化推進基金

国際緑化推進センターの事業推進にご支援を

当センターの活動は、広く企業、団体、個人の皆様のご協力を大きな支えに展開されています。緑の地球づくり活動の一層の推進のために、皆様のご支援をお願いします。

熱帯林造成基金

あなたも熱帯地域に木を植えてみませんか

熱帯地域の緑化にあなたもご協力ください。皆様のご厚意がたくさん集まって「森林」が生まれます。当センターでは、減少著しい熱帯地域の森林の再生を目指し、国民の皆様の浄財を募って植林を実施しています。

国際緑化推進センターは公益財団法人ですので、上記二つの基金への寄付金に対しては租税の特例措置が適用になります。

【特例措置の内容】○個人の寄付の場合は、一定額*を所得控除できます。*一定額：寄付金額（所得金額の40%を限度）-2,000円

○法人の寄付の場合は、一般寄付金の損金算入限度額とは別枠*で一定の限度額の範囲内で損金算入とすることができます。
*別枠：（所得金額の5.0%+資本金等の額の0.25%）×1/2

賛助会員

国際緑化の情報をお届けします

賛助会員へご入会ください。賛助会員には個人会員と団体会員（法人・法人以外の団体・地方公共団体）があります。

年会費 ●個人会員…1口 10,000円

●団体会員…1口 100,000円

会員へのサービス： 当センターが発行する出版物はじめ国際森林・林業協力に役立つ情報の提供、また海外緑化活動に関する相談などに応じます。

寄付金および賛助会員のお申し込みは、国際緑化推進センターまでご連絡ください。
お振込先

<口座名> 国際緑化推進センター

国際緑化推進基金：三井住友銀行 小石川支店 普通口座 0366832

熱帯林造成基金：三菱東京UFJ銀行 春日町支店 普通口座 0497178

賛助会費：三菱東京UFJ銀行 春日町支店 普通口座 0496575



公益財団法人 国際緑化推進センター

Japan International Forestry Promotion and Cooperation Center

〒112-0004 東京都文京区後楽1-7-12 林友ビル3階

Tel: 03-5689-3450 Fax: 03-5689-3360

E-mail: jifpro@jifpro.or.jp URL: <http://www.jifpro.or.jp/>